

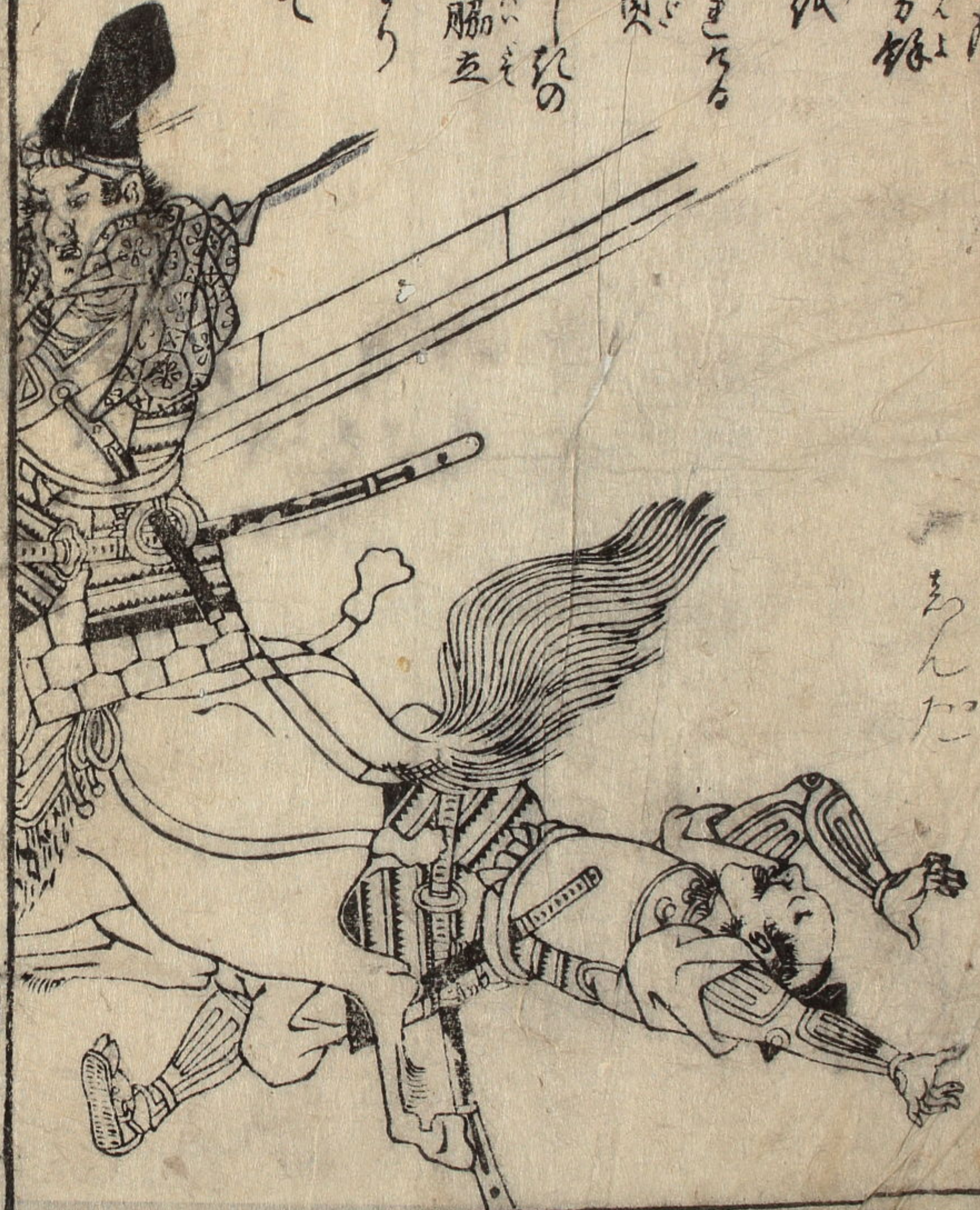


周懐金村ハ手裏の  
 名人ナリ神不慮ノ  
 城ヨリ海軍ニテ二ツノ  
 攻メヨリ長手の中ナリ  
 大矢の三ツ竹小長取寺の  
 矢志リ又分發ヤシカニ  
 皆モ伏撃ヲ然ルモ美  
 たるにわさしりかぞ  
 樽のさぬと手裏ノ  
 投されぬ敵兵のせんば板  
 河がまればけのるのまは  
 二寸計三寸ノ一ツハ  
 城中あきまにすこれぬ





是肥の出陣  
 甚勢三万餘  
 河合元就  
 うらぬまを  
 大將義貞  
 赤地のみ  
 初々色脇五  
 ぐろをり  
 中門を  
 水練  
 うげ  
 粟毛



あんなた

備下ノ一

空子  
 みん三すの  
 馬すせり  
 のりやま  
 まひし  
 属強して  
 おどろあがり  
 舎人二人  
 せま  
 首途よ  
 人く





法性院信玄の軍法

つひは百戦百勝の

全勝と稱すまじり

志のこころは

和合ともにはすまじ

直あるぬ

くむしやあまされ

者の花巻り

それほ乃まは

きりりそ

弁度



持用下ノ

識者評す

詩よ凶凶の音あり

和あり

こころの

吉あり

うひ

あされ

や

甲

大守乃

祥瑞あり

やいひ









勅書  
 大率と委任  
 世に世に  
 楠の橋乃  
 法見つ  
 末孫あり  
 道天地法と  
 實心仁義の  
 勇徳あり  
 水波元弘実権  
 乃々々々



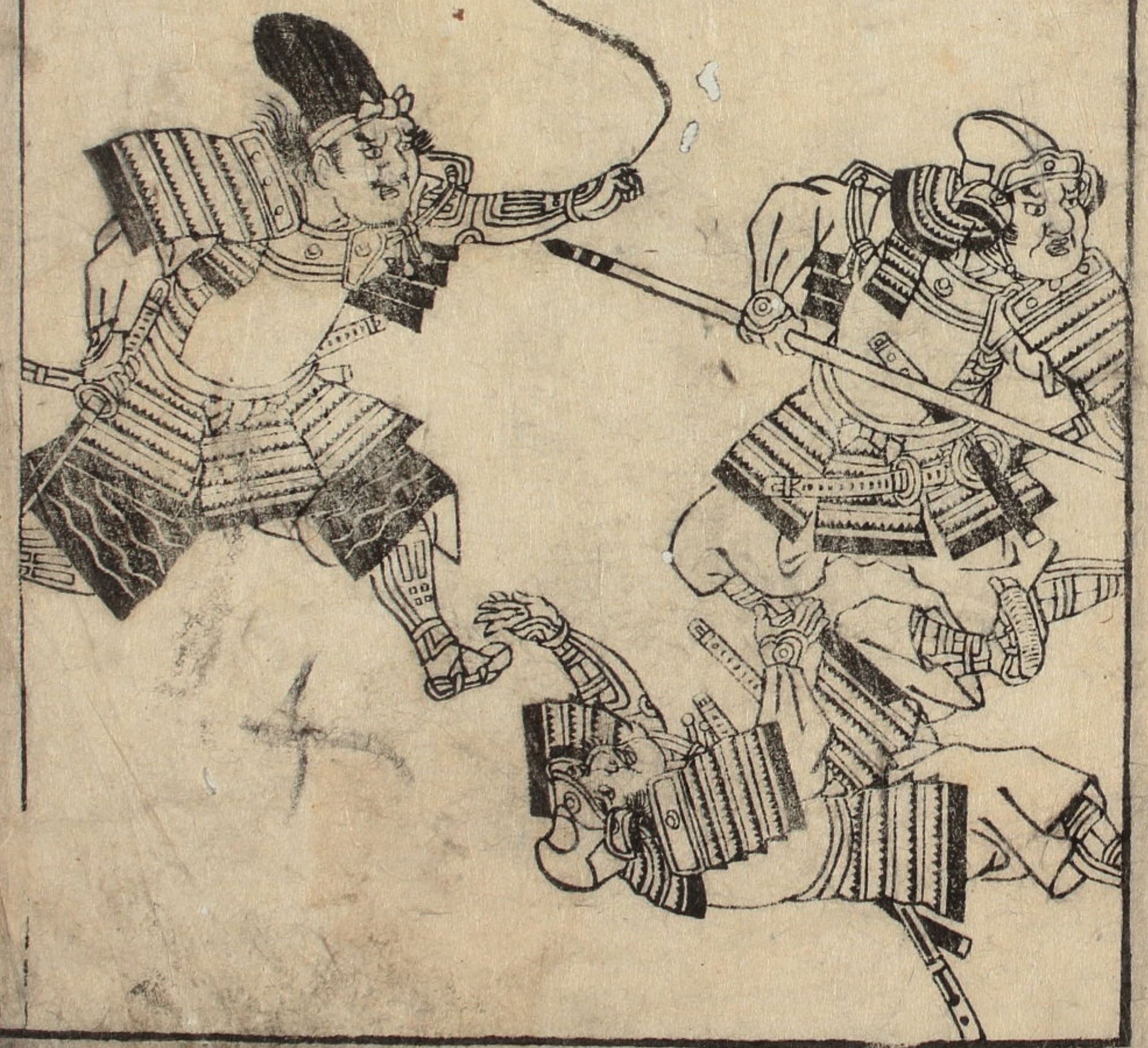
後醍醐皇  
 笠置の御所へ  
 勤王の兵いまだ  
 まのりありませ  
 ざりたれは者居  
 智略とめらし  
 所長の長ありし  
 一こそ楠成と  
 めされ軍のてとせ  
 さころいせられ  
 乃々始平の  
 秘傳作戦の  
 口決的白よ







くらとね  
 志しを  
 弁意  
 けし知  
 志列麻生浦  
 加老光角  
 神号  
 けしれ  
 忠を



元暦実録を抄するに  
 上総介水島の馳辱  
 京えり  
 伊賀伊勢に流  
 忠清法師  
 平家没落の後  
 頼朝とは  
 頼朝がら  
 けしれ





小條時政を  
 桓武帝十六代  
 の孫あり  
 ぬらり軍劔  
 此時松島り  
 三十七日未竟  
 せし世なるふ  
 赤袴り  
 柳り女衣  
 忽然りして



河りこれ  
 女が赤袴ハ  
 時政法原  
 とりふ  
 六十六日未竟  
 の君根河りこれハ  
 武運長久之ら  
 倉りせりて  
 三つとねりの  
 河りに竜鱗ら  
 のこしらりて  
 家の紋とせり

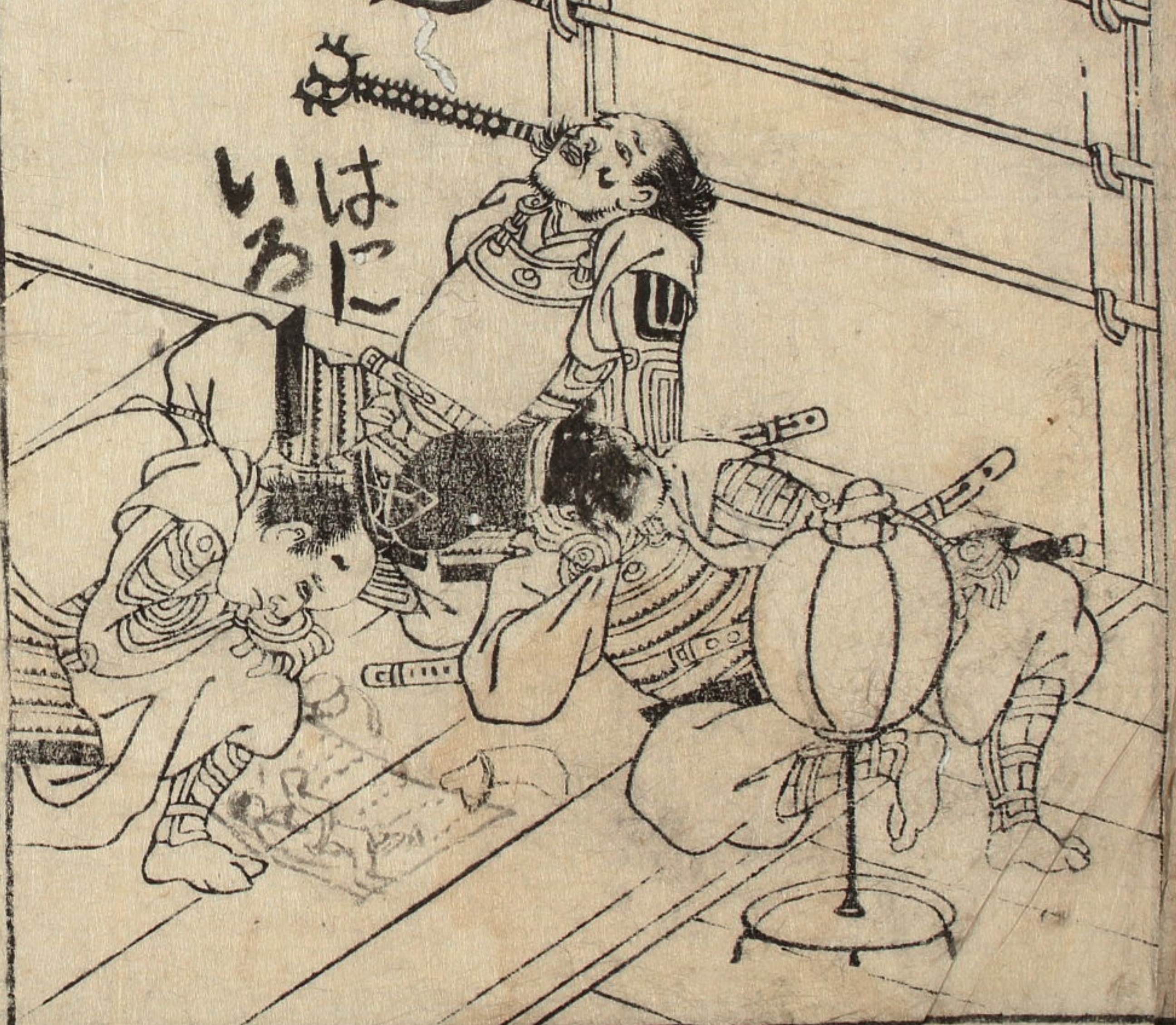




うらやうしものも  
 いまぞよらう  
 つらき人  
 あれより  
 おこころなる  
 次はす  
 後と破  
 逃さう  
 智勇の人  
 せんが  
 かくいさういさる



殿法平良忠  
 因しありて  
 獄をみせね  
 さめくいむの  
 食も志のく  
 らざりたるが  
 不じ強てさめ  
 食ひん  
 到ことら  
 海さけびり  
 何をひる後よ



いはかに



田條徳も合戦り  
 正行正時  
 師直が首ら  
 討死したるは  
 一軍をくまなくして  
 怒気絶なり



井筒下

かのひは  
 せざるは  
 實とつらぬ  
 中めも言渡の鼻田跡  
 藤はと射をせず  
 かりまわがり内が  
 初んの髪と  
 すりくは





本朝逆史刺密傳

よいつく 搦手

俞七田郎

おのころん

毎双のちか

あればこそ

長田

くさくさ

紐子として

義朝と

刺志のそり



うしーその

大將を

浴室中

壺刀と

いも

三人志

家敵

紐を

あひしど

い





ありけり  
 友へ今も  
 せんうまき  
 切てあらざ  
 せんが  
 尺に  
 のりて  
 勇を  
 うり  
 者どもあり



張列泰海を  
 義朝大悪人  
 殺ちて  
 金の九  
 當の歌ハ  
 報殺  
 こハく射て





仁徳皇の異玉より  
 日本弓とて  
 足んとも鉄的坂  
 きてみるまう  
 村よとのぞき  
 なるこれ  
 看人宿禰よ  
 作つあまき  
 なるば畏て  
 たゆましく  
 鉄坂



村よ  
 なるこれ  
 看人宿禰よ  
 作つあまき  
 なるば畏て  
 たゆましく  
 鉄坂  
 異玉人  
 古とまて  
 おのまき  
 鐵り  
 金双  
 弓槍





ひどい  
 鬼原玉の宿儺の  
 一跡ありて  
 ぬの敷も  
 徒も四行  
 こそたか  
 らやま  
 多くひ  
 明さゆ  
 家急  
 慕逆よ



人氏と  
 悩  
 東の禁法  
 ともお  
 やつら  
 取面  
 うま  
 たり  
 武振  
 執を  
 退治





作者

折江撰

畫圖

西川自得叟祐信筆

彫刻師

洛陽

丹羽庄兵衛

嗣出

繪本勇士抄

全初二冊  
西川氏画

寛延二年

東都書林

鱗形屋孫吉衛

正月吉日

帝都書林

上菱屋正治郎

世宗皇帝御覽卷之四十四

中書賣通源路

大徳寺町三丁目 武小僧

